

②タッチパネルの有効性の確認を含め導入を検討していく。
 ③早期に受診を勧める必要があると考えるが、拒否する場合は多い。その場合は、地域包括支援センターの継続した関与とともに各種予防教室へ参加を促す等、働きかけを継続していく。
高齢者が地域貢献できる仕組み
【問】①団塊世代地域回帰事業の講座修了者の、その後の活動状況はどうか。
 ②あだち皆援隊講座の成果と課題は何か。修了者が地域等で活動できる受け皿作りが必要と思うがどうか。

産前産後の切れ目のない子育て支援について

公明党 きじま てるい 議員



母子健康手帳の交付は、母子保健へのスタート
【問】母子健康手帳の交付は、地域の妊婦を把握し各種支援サービスにつなぐきつかけとなるため、その対応は重要である。しかし、区民事務所での交付は、専門職による面談がなく、アンケートも任意である。本来なら全数面談が望ましいが、工夫ができないか。

妊娠届出書
母子健康手帳

【衛生】手帳の6割が区民事務

また、後日、本人が希望する場合は保健師による訪問等が行えるよう、さらにアンケート内容を工夫する等、必要な支援につなげていけるよう努めていく。
子育て応援メールを配信しよう
【問】核家族化により、孤かな育児環境の中で不安を抱える母親にとって、聞きたい・知りたいと思うタイムリーな情報は願ってもない。予防接種ナビのメールを活用し、さらに充実した情報を配信すべきだがどうか。
【衛生】予防接種ナビは、妊娠前から時期に応じた情報メールを配信可能なシステムとなっている。今後、妊娠、出産、育児の不安軽減に繋げる子育て応援メール配信に向け検討していく。

日本共産党足立区議団

税金・プライバシー犠牲、法令違反の外部委託撤回を
 日本共産党 ぬかが 和子 議員



区民の声を国に届けるべきだ
【問】政府は増税の判断を年内に行うとしているが、圧倒的多数の区民が中止を求めている。区民生活と地域経済を守る立場に立ち、再増税反対の意思を表明するのは当然だがどうか。
【政策経営】社会保障や子育て支援の安定的な持続に消費税は必要な財源であり、現時点で反対の意思を表明する考えはない。
【問】①家具転倒防止の啓発強

化と補助拡充、家具のガラス飛散防止支援を行う考えはないか。
 ②防災マップを改善し、「自分の街」がわかる地域版マップの作成を支援すべきではないか。
【建築】①助成対象者の範囲を拡充する予定はない。ガラス飛散防止支援は今後検討していく。なお、地区別説明会や個別相談会等で積極的に家具転倒防止の重要性を周知していく。
【危機管理】②地区防災計画策定に合わせ、住民による地域版



戸籍業務の外部委託は中止せよ
【問】戸籍窓口業務外部委託は、東京労働局が偽装請負と断定。①今後、是正指導に基づき事実上の部分委託に変更されるが、委託し続ける二次入力の移記は区職員の関与が欠かせないものであり、是正すべきだがどうか。
 ②現在も違法状態ではないか。
 ③区民に多大な迷惑をかけた委託前より費用がかかった責任をどう取るのか。区職員10名を窓口に戻す、その人件費分も含めて契約変更が必要だがどうか。
 ④戸籍業務が未解決の中、区は外部化に突き進むと宣言している。他の外部委託のあり方も抜本的に見直すべきだがどうか。

【区民】①移記は委託可能との確認を国から得ており、是正の必要はないと考える。
 ②労働者派遣法において、違法状態と認識している。
 ③人件費の減より委託金額が上回ったことをお詫び申し上げる。今後、経費削減とサービス向上を目指し責任を果たしていきたいと考える。増員する区職員の人件費に相当する委託金額変更は、受託事業者と協議していく。
【政策経営】④戸籍業務委託への指摘・是正指導を真摯に受け止めて進めていきたい。

子どものすこやかな育ちと踏切対策について

日本共産党 浅子 けい子 議員



子ども・子育て支援新制度では保育の質の確保を
【問】すべての施設等で現行保育所基準以上の条件を保障し、保育者を有資格者にすべきだがどうか。

また、認可保育所が4階に保育室を設置する場合に屋外避難階段等の設置規制がなくなる等、安全や災害時の避難を考えれば認められないがどうか。
 さらに、区が支援して園庭設置を義務付けるべきだがどうか。
【子ども】現行の区小規模保育室の保育士割合6割を最低基準

一人ひとりの区民に合ったサービスの提供に努めていく。
 特養ホームは、今後も待機者の実態や高齢者の伸び率等を勘案しつつ、ゆるやかな増設していく必要があると考える。
環境対策の先進自治体を目指せ
【問】下町人情や平地の多さ等、足立の特性を活かし、環境モデル都市を目指すべきだがどうか。
【環境】地域特性を活かした環境都市のイメージの具体化を考えており、手法の一つとして認定の可能性を追求していく。

足立区議会民主党

声なき声を区政に
 民主党 長谷川 たかこ 議員



発達障がい特性がある当事者とその家族に対する支援策を問う
【問】①区として、保育園・幼稚園の職員、小・中学校の関係者に対し、障がい特性に関する理解と普及啓発活動、成長段階に合わせた適切な支援、特に、その特性が見え隠れしている当事者に対するバックアップ体制を強力に進めるよう求めるがどうか。
 ②専門家指導の下、親の会等の協力を得て、ペアレントメンタ

また、新制度の小規模保育事業では認可保育所に準じた設備基準が設けられており、保育の安全性は確保できると考える。
 園庭を確保できない場合は近隣の公園を代替地に指定しており、義務付けは考えていない。
踏切事故から弱者を守る対策を
【問】遮断機は、健常者の通過を目安に時間設定されており、高齢者や障がい者に配慮されていない。見直すべきだがどうか。
 また、東武鉄道に人的配置を求めるとともに、当面区として見守り員配置の考えはないか。
【鉄道立体】鉄道事業者と協力し研究する必要があると考える。また、東武鉄道は特殊な事情のある踏切以外、保安要員を配置する考えはないとのことである。区独自の見守り員の配置は、現在のところ考えていない。

用語解説

*ペアレントメンター...発達障がい者の子育て経験のある親であって、その経験を活かし、子どもが発達障がいの診断を受けて間もない親等に対して相談や助言を行う人のこと

*ピアカウンセリング...同じ悩みや障がいを持つ仲間との相談のり、援助をすること